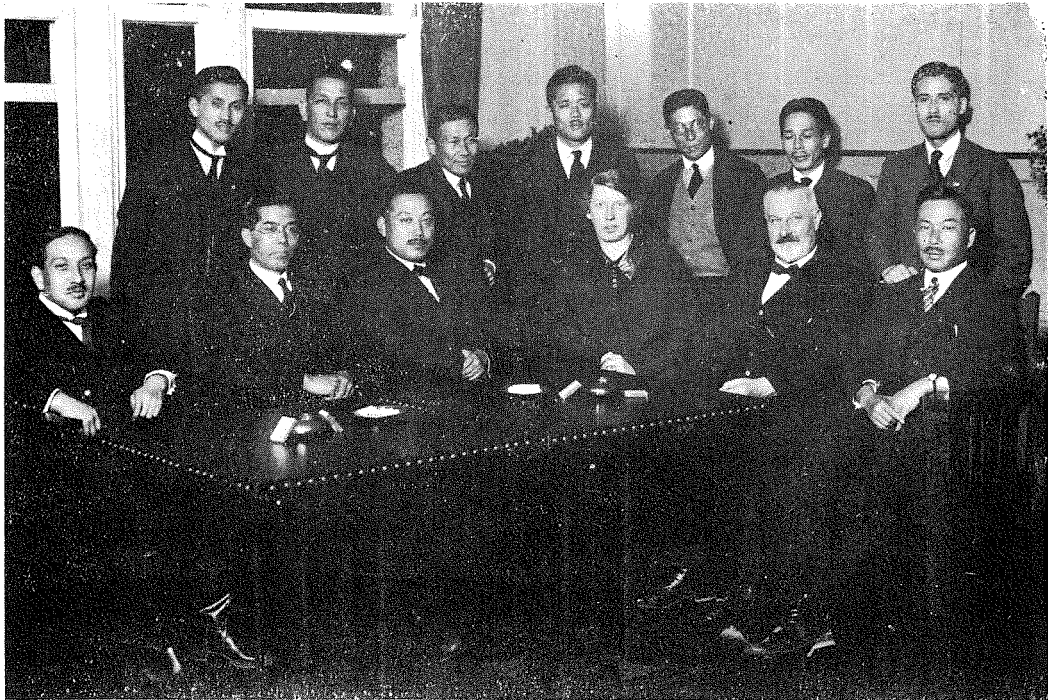


The Directors of the Japanese Technicians' Union, at the Reception of Mrs. And Mr, John Turner, Ex-Director of Nat. Amalg, Union of Shop Assist., Clerks And Warehousemen in England, Nov. 18, 1925, Tokio.



チヨーン、ターナー氏夫妻招待會に於ける工人俱樂部幹部諸氏
 後列左ヨリ 蒲孚氏、原口忠次郎氏、平山復二郎氏、武田晴爾氏、森田三郎氏、小池四郎氏、廣保正氏
 前列左ヨリ 小林政一氏、波田強一氏、金子源一郎氏、ターナー夫人、ジョーン、ターナー氏、宮本武之輔氏

非筋肉労働者組合と工人俱樂部

今や世界の狀勢は個々より團體へ、競争より扶助へ、利潤より厚生へ、明かに人類生活の舊形態より歩一歩、共同生活の完成へとその基調を變換しつつある。就中、職業的協同は其の最も著しい世界的傾向であつて、同一職業の共同團結、相互扶助等、共同の幸福増進は新社會建設の途上に重要な役割を演じてあるは、見逃し得ない事實である。

將來の社會はこの職業的協同の上に基礎づけらるゝであらうときへ論ずる者もある。

論議の締結は漸くおこもこの職業的協同が新社會建設の上へ及ぼす影響に到つては最早や論議の外である。

我邦に於ても筋肉労働者組合は十年來異常な發達を遂げ、幾多有力なる職業組合 (Trade Union) も組成され、實際運動に於ても相當なる實績を擧げてゐる。獨り、利害の複雑なる點に於ても、職業的協同の必要なる非筋肉労働者の組合は遅々として果取らぬ。盲昧なる社會的環境及び難解なるその筋の曲解もさること乍ら統率者、理事者にその人なきにもあつた。

翹望久しい技術者の職業組合設立運動も遅時き乍ら工人俱樂部に依つて生れやうとして

ある。俱樂部は設立趣旨として多年技術者社會の幸福増進に盡力し、技術の向上、相互の親睦、生活の安定の爲に協同方策を考究するの他、技術者の社會的團結を基礎づくるために眞劍の戦ひをして來た。非筋肉労働者組合の遅々として組織したる我邦にあつて、兎に角工人社會を率いて社會の協同第一戦に進出した工人俱樂部を壯とするものである。

去る年十一月十八日俱樂部は、産業革命の最も早く行はれた結果、最も早くから職業組合の發達した英國の、而も利害の複雑なる實に工人社會とその状態を一にする商店員の團體を率ひてよくその完成に努力し、彼の國非筋肉労働者組合の權威であるジョーン・ターナー氏の訪日に當り、丸ノ内中央亭に招待會を催し、職業組合の前途に就て交歓するところがあつた。

氏の訪日は本邦に於ける非筋肉労働者組合の視察にあつたと云ふ。我國に於ける組合運動が未だ頗る幼稚であることを報告し得たに過ぎなかつたことは實に遺憾である。

因に氏は、訪日前迄英國の商店助手、卸商店員、書記組合の秘書長 (Ex-Director 理事長 主腦幹部の意) であつた。(編輯子)